

平成25年度第1回府中市障害者等地域自立支援協議会 会議録

- 日 時：平成25年7月4日（木） 午後2時～午後4時
- 場 所：府中市役所北庁舎3階第3会議室
- 出席者：（敬称略）
 - <委員>上村好美、崎尾義輔、秋山元、真鍋美一、女鹿美穂子、
鴨澤真広、河井文、山本博美、野村忠良、山内正、犬飼知子、
播磨あかね、古寺久仁子、行本理、見ル野一太
 - <事務局>高野市長、福祉保健部長、福祉保健部次長、障害者福祉課長、
障害者福祉課長補佐、事務職員
- 傍聴者：1人
- 議 事：
 - 1 依頼状の交付
 - 2 市長あいさつ
 - 3 委員自己紹介
 - 4 正副会長の選出
 - 5 本協議会における検討事項依頼
 - 6 協議会の運営等について
 - 7 議事
 - (1) 府中市障害者等地域自立支援協議会の役割について
 - (2) 専門部会について
 - (3) 会議のスケジュールについて
 - (4) ヘルプカードの作成、配布について
 - (5) その他
- 資 料：

資料1	府中市障害者等地域自立支援協議会委員名簿
資料2	府中市障害者等地域自立支援協議会設置要綱
資料3	府中市障害者等地域自立支援協議会の会議の公開等について（案）
資料3別紙1	協議会会議傍聴者名簿
資料3別紙2	協議会の傍聴について
資料4-1	府中市障害者等地域自立支援協議会の役割について
資料4-2	府中市障害者等地域自立支援協議会における検討経過
資料5	協議事項資料
資料6	第4期府中市障害者等地域自立支援協議会スケジュール（案）
資料7	ヘルプカード（案）

開会

■事務局

皆さんこんにちは。定刻となりましたので会議を始めさせていただきます。まだ若干お見えになっていない方がいらっしゃるようではありますが、始めさせていただきます。

本日はお忙しい中、お集まりいただきまことにありがとうございます。ただいまより平成25年度第1回府中市障害者等地域自立支援協議会会議を始めさせていただきます。

本日の司会を務めさせていただきます府中市福祉保健部障害者福祉課課長補佐の相馬と申します。よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議ですが、おおむね2時間程度を予定しておりますので、ご了承ください。

それでは、お手元に配付してございます次第に従いまして進めてまいります。

1 依頼状の交付

(※依頼状を委員に交付)

■事務局

次第1、依頼状の交付でございますが、本来ならば市長から委員の皆様へ直接お渡しすべきものですが、時間の都合もありますので、簡略化させていただき、机上でご用意させていただきました。ご確認のほど、よろしくお願いいたします。

2 市長あいさつ

■事務局

次に、次第2、市長あいさつでございます。

本日、府中市障害者等地域自立支援協議会の委員をお受けいただいた皆様へ、府中市市長、高野律雄よりごあいさつをさせていただきます。

市長、よろしくお願いいたします。

■高野市長

皆様こんにちは。紹介していただきました府中市市長の高野律雄でございます。

皆様方には、日ごろより、市政各般にわたりまして多大なご理解とご協力をちょうだいしております。この場をおかりして、まず冒頭、厚く御礼申し上げます。

そして、このたびは、府中市障害者等地域自立支援協議会委員へのご就任をお願いさせていただきましたところ、快くお引き受けいただき、本日は、大変お忙しい中にもかかわらずご出席をいただき、重ねて御礼申し上げます。

本協議会は、障害のある方もない方も、相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことができる地域社会づくりを推進するため、障害者福祉に関して、地域における

システムづくりをご協議いただく中核的な役割を果たす場として大いに期待しているところでございます。

本市といたしましては、障害をお持ちの方々が、住みなれた地域で、安心して生き生きと暮らせるまちづくりを目指しており、これからも「暮らしやすい府中」を実感していただけるよう、市民の皆様との協働によるまちづくりを展開していくとともに、「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向けて市政運営に取り組んでまいり所存です。

どうか委員の皆様方には、障害をお持ちの方々が安心して自立した生きがいのある生活を送るために、今後ともご指導いただけますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のなお一層のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、冒頭のごあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。

3 委員自己紹介

(※事務局より、石見委員、小池委員、諸隈委員の欠席と古寺委員の到着が遅れる旨報告)

(※着席順に自己紹介)

4 正副会長の選出

■事務局

次に、次第4、正副会長の選出になります。

会長及び副会長の選出に当たっては、本協議会の設置要綱上、委員の互選によるものとなっております。要綱は資料2にございますので、後ほどご確認ください。

なお、後半の議事の中でご説明いたしますが、会長及び副会長には、府中市障害者計画推進協議会に委員として参加していただくほか、必要に応じて運営会議にもご出席いただくことになっております。

いかがいたしましょうか。

■委員

事務局案がありましたらお願いたします。

■事務局

事務局といたしましては、会長は河井委員に、副会長は見ル野委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(※一同拍手。全会一致により正副会長を決定)

(※正副会長が正副会長席に移動)

(※事務局より正副会長にあいさつの依頼)

■会長

このたび、第4次自立支援協議会の会長を務めさせていただきます。前期も会長を

務めさせていただきました。力不足ではございますが、委員の皆様のお力をかりまして、実り多い議論ができますように努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■副会長

甚だ微力ではございますが、皆様方のご協力を得ながら頑張って進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

5 本協議会における検討事項依頼

(※事務局から、検討依頼書を朗読)

(※市長から会長へ、検討依頼書を渡す)

(※事務局から委員へ、検討依頼書の写しを配付する)

(※市長、公務のため退席)

6 協議会の運営等について

(※事務局の自己紹介)

(※事務局より、会議の公開等について説明(資料3))

(※会議の公開、会議録の公開、会議録の様式、会議録の公開手続、会議開催の告知、傍聴者等について事務局案を提示)

(※事務局より、異議の有無について呼びかける)

(※異議なし)

(※会議の公開等につき、事務局案のとおり決定)

(※資料の確認)

(※傍聴人入室)

7 議事

(1) 府中市障害者等地域自立支援協議会の役割について

■事務局

ここからは、進行を河井会長にお願いいたします。

■会長

それでは、事務局からの説明が終わりましたので、早速議事に入りたいと思っております。

初めに、議事(1)府中市障害者等地域自立支援協議会の役割について、まず、事務局から説明をお願いいたします。

■事務局

(※府中市障害者等地域自立支援協議会の役割について説明(資料4-1、4-2))

■会長

ありがとうございました。

ちょっと長い説明になりましたけれども、事前に皆様、資料をお読みいただいたと思います。ご質問があれば伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

■事務局

議事の途中になりましたけれども、ここで、多摩府中保健所の播磨委員様、公務のために中座させていただきたい旨、伺っておりますので、よろしくお願ひいたします。

■会長

お忙しい中、30分でもご出席いただきましてありがとうございます。

(※播磨委員退室)

■会長

では、改めまして、ご質問があれば、自立支援協議会は、平たく言えば、支援を必要とされている方が、何か困難なものを抱えたときに、どうやったらその困難なものを排除できるか、克服できるかということに関係機関が集まって、知恵を出し合い、力を出し合い支えていきたいと思いますという協議会であります。その中で出された共通する課題については、正副会長が、障害者計画推進協議会にその課題を持っていきまして、計画の中にそれを盛り込んでいただくように指摘して、今後の府中市の障害者福祉に関して、よりよいものにしていただくようにという流れになっています。

そういうところで、ご質問はないでしょうか。よろしいでしょうか。

では、専門部会も、3つではなく、去年は2つで、この全体会の持ち方ですとか運営会議、専門部会の持ち方も、市区町村によってさまざまです。委員の数も、多いところは50人というところもあったり、本当にいろいろあるのですが、府中市の場合は、3期6年やって、現状この形になっているということです。また、これではちょっと協議が進まないということであれば、途中で皆様のご意見を伺って、今期にそれが変えられるかどうかわかりませんが、来期につないでいきたいと思ひますので、その点についてもあわせてご意見を伺いたいと思ひます。よろしいでしょうか。

(2) 専門部会について

■会長

それでは次に、議題の2番に行きます。専門部会についてです。

それでは、専門部会について、事務局から、まず説明をお願いします。

■事務局

(※専門部会について説明(資料5))

■会長

ありがとうございます。

会議の持ち方についての説明をしていただきました。先ほどからの説明にもありますように、全体会は年3回、2年間で計6回を予定しておりますので、なかなかそこで具体的な議論をするということは難しくなっております。そのため、専門部会を設

けて、課題ごとに問題点を洗い出し、解決策を見出した上で、ある程度の案を作成いたしまして、それを全体会に持ち上げて、そこで決定し、市長報告に結びつけるという方法をとりたいと考えています。

専門部会の案を事務局から提案されていますけれども、まず初めに、このような専門部会を設置して課題別に検討を進めていくということについて、皆様、ご了承いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。

(※発言する者なし)

■会長

では、今期も専門部会を設置いたしまして、皆様に、どこかの専門部会に加わっていただいて協議をしていきたいと考えております。

それでは、まず、その専門部会をどういった形で設置するかということで、事務局から2つ出されていますが、前回の自立支援協議会に出席された方は、ツールに関して、もうさんざん資料をご覧になったので内容をよくご存じだと思いますが、今回初めて委員になられた方は、今日初めてこの報告書をご覧いただきますので、この報告書の後ろにツール案ということが記載してございます。かなりのボリュームですので、なかなかぱっと見て内容を全部把握するのは難しいかと思いますが、生まれてから年を重ねて一生を終えるまで、どんな支援が必要なのか、どういった人間関係があるのかといったような、いろいろ障害を持つ人が社会の中で生きていくために必要な周りのサポートをしやすくするために、こういったツールが必要なのではないかということで、この第3期の中でツール案を検討いたしました。これはまだ完成版ではございませんので、これをどういうふうに配布するかととか、あと、実際に使うに当たって、どういった形で皆様にアナウンスしていくのがいいかといった運用面の問題ですとかまだ課題として取り残してございますので、それについて引き続き今年度の専門部会で検討したいと考えて、このツール検討部会を提案させていただいております。

もう一つの相談支援部会につきましては、皆様ご存じのように、サービス等利用計画書が必須になりまして、サービスを受ける方は、全員がこのサービス等利用計画書をつくらなくては行けない。それも、指定特定相談支援員が作成し、さらにモニタリングをしという、大変手間のかかる制度になっておりますので、これを府中市の障害を持つ方全員が、今後3年程度の間につくらなければいけないというところで、非常に課題を抱えておりますので、それを、計画書の水準をきちんと一定としたものにするとか、市内のサービス提供事業者がどの程度足りていないのか、足りているのか、こういった部分には足りないとか、こういった部分をもうちょっと伸ばしてほしいというものを明らかにするためにも、そういった相談支援についての専門部会を設けてきちんとした共通認識を持って今後取り組んでいけるようにということで、この自立支援協議会の専門部会で検討していったらいいのではないかとということで提案させていただきました。

この2つの専門部会について、まだちょっと内容がよくわからないということであ

れば、まず、ご質問を受けたいと思います。

今日初めてご覧になった方はなかなか質問が難しいと思いますが、もし何かありましたら、ご遠慮なく事務局に、これはどういうことなのかというようなことでご質問をしていただけたらいいかと思えます。

それでは、この2つの専門部会を設置するということにご異議のある方がいらっしゃいましたら伺いたいと思います。

(※発言する者なし)

■会長

よろしいですか。では、とりあえず、この2つの専門部会を今期は設置するということで決定させていただきます。

これ以外に、こういった課題もあるというようなものがもしあれば、今期すぐに設置できるかどうかわかりませんが、ご意見があればこの場で伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

では、当面、この2つの専門部会を設置して、個別の課題について協議していきたいと考えます。

(3) 会議のスケジュールについて

■会長

それでは、次の(3) 会議のスケジュールについて、事務局から提案をお願いします。

■事務局

(※会議のスケジュールについて説明(資料6))

■会長

ありがとうございました。

何度も申し上げているように、全体会は年間3回程度、このぐらいの月をめぐりに開催したいということで、具体的な日程については、例えば今回ですと、第2回は何月ごろに行いたいと思いますということで、具体的な日程については、なるべく早目に委員の皆様にお知らせして、スケジュール調整をしていただくようお願いしたいと思います。

何かご質問等ありましたら伺いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

(4) ヘルプカードの作成、配布について

■会長

では、次の議題に行きます。ヘルプカードの作成、配布についてです。事務局から、まず説明をお願いします。

■事務局

(※ヘルプカードの作成、配布について(資料7))

■会長

ありがとうございます。

今、サンプルを回覧させていただいておりますが、この資料につきましては、事前配付いたしましたので、皆様ご覧になったと思います。こういうヘルプカードのようなものは、全国的にもあちらこちらで作り始めて、東京都内でも、東村山市ですとか、小平市でしたか、いろいろなところで作っていたのですが、統一した書式がいいのではないかということで、東京都が表のこのマークをつくりまして、今、妊婦さんが持っているマタニティマークというのですか、かばんにつけるああいったイメージで、皆さんに周知したいということで、最初、この赤い白抜きの、このくらいの大きさなので、かなり大きいもの、かばんにつけるヘルプマークを作成しまして、今、大江戸線の駅の事務室で配っているのです。なぜ大江戸線だけなのかよくわからないのですが、東京都が配布しております。

それとは別に、支援してほしい内容ですとか、言葉でのコミュニケーションが難しい方に関しては、氏名ですとか連絡先を記載できるようなカードをつくって携帯させるということで、こういったものを作成いたしました。

予算をつけている関係もありまして、このヘルプカードの記載内容については、今日ここで決定して、事務局で印刷、配布を本年度中にしたいと思っています。皆様に事前にお配りしたので、中身をご覧になったと思いますが、ここの表現ではどうしてもちょっとわかりづらいとか、この欄では難しいみたいな内容がありましたら、お知らせいただきたいと思います。

■委員

今日決めてしまうのですね。

■会長

はい。なかなか配布の時間もかかりますので、次の会議は11月ごろを予定しておりますので、そこで決定だと、ちょっと今年度中の配布が難しくなりますので、大変時間がなくて申しわけないのですが、今日この場で決定ということにさせていただきたいと思っています。

今、個人情報保護法の問題もありまして、どこまでの個人情報をごこういったカードに記載するのかというのがあるのですが、やはり最低限必要な連絡事項は書かないといけないだろうということで、カードではなく、こういった折り畳み式の用紙に府中市としては考えたというところです。

ちなみに、ここについているネズミは、府中市の「ちゅうN e t」という作業所連絡会が、共同で制作、販売等をしているときに使っているシンボルマークなのですが、宣伝も兼ねているのですが、障害者福祉課としては一押し案だそうです。

ここのヘルプカードの下のネズミのイラストの部分は何を書いてもいいということで、例えば、「東京都〇〇市障害者福祉課」みたいなものを書いてあったり、その連絡先が書いてあったり、いろいろするのですけれども、府中市の場合は、こういった

シンボルマークがいいのではないかとということで提示させていただいております。このネズミのイラストも含めてご意見を伺いたいと思います。

■委員

この折り畳み式はすごく情報量が多いと思うのですが、折った状態でこう入っていると、普通はここここしか見ないような気がするので、「中面に情報があります」とかというのをどこかにあってもいいのかなと思いました。普通、折ってあると、チェックしたいのに、多分名前ぐらいしかわからなくて、実は発作の対応とか大事なことが中に書いてあるのに、そこに気づかない可能性がちょっとあるのかなと思ったので、ネズミさんが隠れない程度にもしできるのかという感じです。

■会長

ここのところですね。「中面をご覧ください」ということですね。

■委員

「詳しくは中面にあります」とか、そんな感じのものがないと、あれに入ってしまったと見えないから。

■会長

確かにそうですね。

■委員

せっかく書いてあるのに。

■会長

なるほど。では、この辺に小さい字で「詳しくは中面をご覧ください」。というご意見が出ましたので、事務局。

■事務局

ありがとうございます。こちらとしては全然そこまで想定していなく、貴重なご意見をありがとうございます。そうさせていただきたいと思います。

■会長

ほかにはいかがでしょうか。何かこの項目だとちょっと書きづらいとかというのが、なるべく汎用性のあるものということでこういう形になったのですけれども。

(※発言する者なし)

■会長

今すぐにはなかなか意見が出ないかもしれない。今月いっぱいぐらいだったら大丈夫ですか。

■事務局

大丈夫です。

■会長

では、今月20日過ぎぐらいまでに、もしも何かありましたらご意見を出していただいて、それが必ずしも反映できるかどうかはわかりませんが、事務局と正副長で協議の上、決定させていただきたいと思います。

■委員

会話、食べ方、食形態、排泄の欄は、言葉に丸をつけるようになっていますが、空欄にしたほうが詳細に書きこめるのではないのでしょうか。

■会長

その辺を自由記述欄に加えて書いていただければということで、ちょっと余白部分を多くとるようにいたしました。

■委員

ではここに、自由記述のところにもっと詳しく書く。

■会長

そうですね。

■委員

それならいいと思います。

■会長

必要な配慮事項については、この余白を2つ分とりましたので、このところを書いていただきたいと考えております。

だから、これはもう折り畳んで、例えばかばんの中に入れてしまうと、持っているかどうかわからないので、それをどうしましょうかねという話もちょっとしたのですが、それをかばんにぶら下げるとかという、それを持っている人はこういうものを持っているよという目印にするとか、ちょっとした工夫は必要だと思いますけれども、なかなか首にぶら下げると、知的に障害がある方とかだと、引っ張ったりとかして危なかったりしますので、持たせ方に関してはちょっと工夫が必要だとは思いますが。

こういうものを、例えば支援の必要な人が持っているということが一般の方々に広く認識されると、いざというときに役に立つというようなことですね。だから、当事者がこれを持つのはもちろんなのですが、広く一般の方にこれを宣伝するというのが、まず当事者として必要なことなのかなとは思っています。だから、使われないと意味がないので。

一応は、東京都でこれは推進していますので、いろいろなチラシ等の配布はしているところです。ヘルプカードをつくっていますという、割と大きなパンフレットとかも今つくって、いろいろなところに配布しているのですが、でも、大体そういう配布するところが、社協であったり、意外と関係者しか行かないところだったりするので、なるべく一般の方が立ち寄るところに配られると一番いいと思うのですが、その辺の方法については今後の課題かなと思います。

ほかに何か。

■委員

意見というか質問なのですが、視覚障害の人がご自分で記入できるような何か配慮はお考えなのではないでしょうか。ホームページからダウンロードできるようにして、

こんな形式でダウンロードできるとか、その辺を教えてください。

■会長

事務局、お願いします。

■事務局

申しわけありません、細かいところまでまだ詰め切れてはいないのですけれども、視覚障害の方ですので、市からPRするときに、一応市の広報も音声で録音したものを配布しておりますので、そこで当然PRするのと、実際それを聞いた方が、記入するに当たって、市に問い合わせがあれば、かわりに記載したりとかということはあるかと思っております。

ホームページからダウンロードするときに、機械的に何か音声案内は、多分市ホームページはしていないのではないかとは思っているので、ちょっとやはり課題かなということですね。

■委員

これを配布するときに、広報にも載せますか。府中市の広報紙。

■事務局

はい、府中市の広報紙にも載せます。

■委員

載せるときに、例えばこの色で載せてほしいというか、広報って白黒が多いですよ。だけれども、実際の色と違うというのは見にくいと思うので、もしできればカラーで載せられるといいのですがね。

■事務局

はっきり言うと、多分難しいというのが回答です。一応、担当課からは、カラーでないとイメージがつかみにくいので、できればこの大きさでということで依頼はさせていただこうかとは思いますが。

■委員

思いますね。色も、直接訴えるなら、同じほうが効果があると思うのですけれども。

■委員

色についても大江戸線で配っているヘルプマークはもっとわかりやすいね。これはちょっと茶色っぽいだけれども、茶色っぽい色を違えてあるのか、それとも印刷の関係とかで。

■会長

多分印刷の関係だと思います。

■事務局

もともとのヘルプカードの表面のデータは、東京都のヘルプカードの担当課からデータごといただいています。なので、多分市のプリンターの色の関係でこういう状態になっているかと思えます。

■委員

これは、私のほうが一見してわかるけれども、色が違うと、何か別のサービスかなと思ったりしてと思いました。

■事務局

作成するに当たっては、実際、私もヘルプマークのこういう大きいパンフを持っていますので、それを見ながら、業者と打ち合わせさせていただきたいと思っています。

■委員

多くの項目については、そう変更があるものではないと思うのですが、例えば薬については、結構変更が生じる可能性があると思います。そうすると、もし変更が生じたときには、ここで線を引っ張って訂正をしていくのか、あるいは全部丸々転記などして変更になると作業も結構大変になりますし、その辺は何かアイデアなどをお持ちなのでしょうか。

■会長

事務局からいいですか。

■事務局

一応、今回ヘルプカードを配布するに当たっては、申込書とかそういうものを書いていただくということは考えておりません。ご希望の方にそのままお渡しするのですね。そうしますと、例えば書き損じてしまったとか、おっしゃるとおり、薬のところ、ちょっと薬がかわったとかといったことがあるかと思います。その場合は、また最初から書いてもらうようになってしまうのですけれども、新たにカードを配布するということになります。

ダウンロードについては、今、事務局で考えているのは、ご自分でワープロを使いその中身を入れられるようなものをちょっと考えております。そのかわり、ちょっと変更できないところは、例えば氏名とかが普通に書いてある欄については、ブロックをかけさせてもらって、空白の自分で書けるところはブロックをかけないでダウンロードできればということを考えておりますので、ちょっとそこら辺の技術的などところ、あまり詳しくはないのですけれども、そういうふうにやっていきたいと考えております。

■会長

今の回答でよろしいですか。なかなか、やはり名前とかはずっと変わらないですが、かかりつけ医であるとか、薬の内容とかという、障害の程度であるとか、その都度変わっていくことは考えられるので、それを書きかえていくのはなかなか大変なのですが、その辺、本人が全部書くのが面倒くさい場合、例えば修正テープで上書きするとか、新しい紙をもらうなり、ちょっと本人の手数ではありますが、そういったことでクリアしていただきたいとは考えております。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、今までいただいたご意見を参考にして、今後、配布の手続をとらせていただきたいと思います。皆様も、配られた暁には、ぜひ活用していただくように、ぜ

ひ一般市民の方に周知をしていただけるとありがたいと思います。

(5) その他

■会長

それでは、次の議題に移ります。その他の項目に入ります。

本日最後の議事となりますけれども、先ほど決定いたしました専門部会の担当委員を決定したいと思っています。ツール検討部会と相談支援部会、できれば皆さんにどちらかに入っていたいただきたいと思っているのですが、挙手で意思表示をしていただきたいと思っています。

まず、ツール検討部会に参加したいという方、挙手をお願いします。——犬飼委員と、鴨澤委員、あと私ですね。ほかにどうですか。3人ではちょっときついのですが、できれば、障害当事者の団体の方とかの記載内容等について具体的な検討をしたいと思っていますので、ご参加いただければと思います。それでは、山内委員と山本委員。ほかはいかがですか。

利用する側として、サービス提供事業者の方にも何人か入っていただくとありがたいのですが。では、真鍋委員。

そういうことで、あとは、本日、お帰りになられた方、欠席された委員には、事務局から意向を伺っていただきたいと思っています。

では、残りの方は、相談支援部会ということでよろしいでしょうか。古寺委員、野村委員、女鹿委員、秋山委員、崎尾委員、上村委員と見ル野委員は、相談支援部会ということでよろしいでしょうか。

では、欠席の方のご意見を伺った上で委員を最終的に決定していただきたいと思えます。

それでは、後ほどそれぞれの専門部会に分かれていただいて、部会長と、あと、今後の会議のスケジュールを決定していただきたいと思いますが、その前に、事務局から、会議の日程等について連絡をお願いします。

■事務局

事務局から最後の説明をさせていただきます。

第2回の全体会は11月中の木曜日を予定しております。詳細な日時は、正副会長と調整の上、決定したいと思いますが、あらかじめご都合のつかない日がおわかりでしたら、帰りがけに事務局までお知らせいただければと思います。次回全体会の開催につきましては、年間スケジュールをもとに決定し、時期が参りましたらご通知申し上げます。

また、事前に委任状をお配りしている委員におかれましては、ご記入の上、お帰りの際に事務局へお渡しく下さい。

最後になりますが、参考資料として「平成24年度版東京都内の地域自立支援協議会の動向」という冊子を今からお配りいたします。こちらは、東京都内の区市町村に

おける地域自立支援協議会の平成24年度の活動状況についてまとめたものです。こちらの128ページから130ページまで、府中市の活動が載っておりますので、あとは、他の自治体などでどういう内容で協議しているか、参考になさっていただければと思います。

以上になります。

■会長

ありがとうございました。

まず、今回の会議の日程については11月ということですので、もう今のうちから、この曜日は都合が悪いとか、時間帯がだめとかというようにあらかじめわかっているところがあれば、事前にご連絡いただけましたら、できる限り調整したいと思います。数少ない会議ですので、できるだけ多くの方にご出席いただけるように調整したいと思いますので、ご協力よろしく願いいたします。

今、お配りしました資料は、東京都の自立支援協議会のセミナーで配られた、私はもう既に持っておりますが、それをご覧になると、各市区町村でどういう形で自立支援協議会を運営しているかということがよくわかります。例えば、委員に障害者福祉課の課長とかも入って、かなり行政主導でやっているところもあれば、学識経験者と呼ばれる方が何人も入ってリードされているような協議会もありますし、私のような障害者団体の代表が会長を務めているところのほうが少ないです。非常に少ないと思います。なので、府中市の自立支援協議会を運営する意向として、そういった当事者中心で自立支援協議会を運営していこうという意思のあらわれだと私は理解していますので、皆様のご意見を幅広く承りたいと思っています。

それでは、委任状を後で提出していただくのと、それでは、そちら側にツール検討部会、こっち側に相談支援部会ということで分かれていただいて、正副部会長並びに今後の会議日程を決定していただいて、本日は散会とさせていただきたいと思います。

どうもありがとうございました。

- 了 -